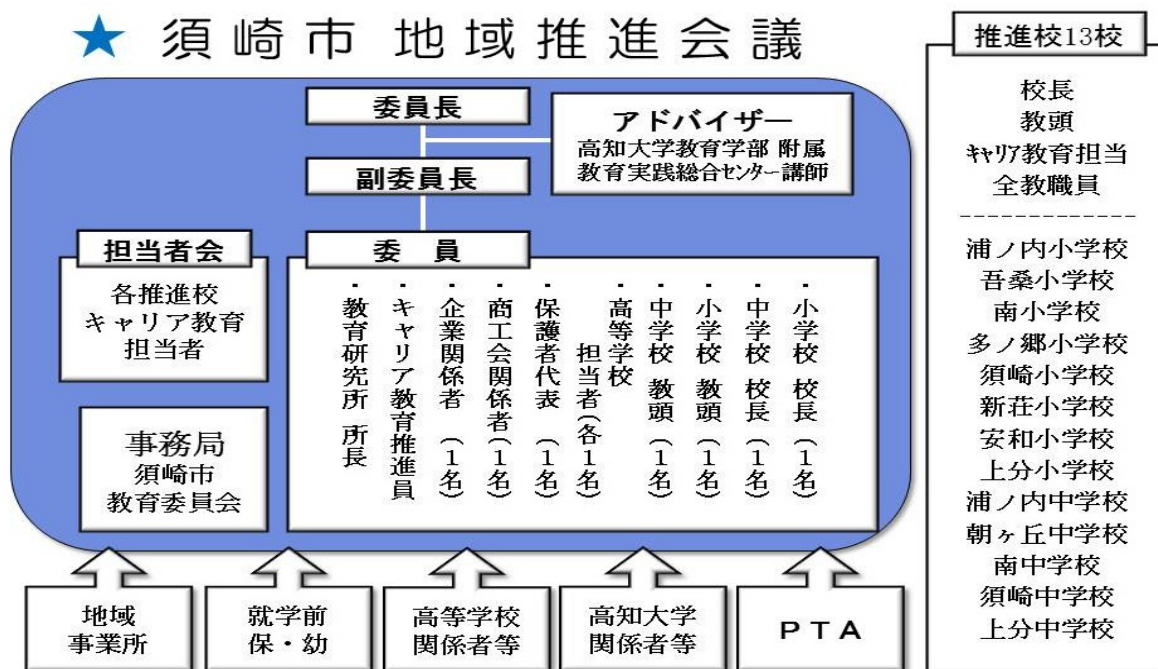


5 須崎市の実践事例

◆その他にも、須崎市では様々な活動でキャリア教育を推進しています。

★ 須崎市キャリア教育地域推進会議 ★

◆須崎市のキャリア教育を推進していくために、平成25年度に地域推進会議を立ち上げ、各校や地域で進めているキャリア教育について情報交換をしたり、小・中・高校・地域が連携してできることなどについて意見交流を行ったりしています。



★ 須崎子ども議会 ★

◆平成25年度より、須崎こども議会を実施しています。各小中学校の代表者2名が、須崎市本議会の議員席に座り、市長・副市長・教育長・各課の課長を前にして、本議会同様に質疑応答をしています。議長も中学生がつとめ、防災や地域の活性化などについて真剣な議論が行われました。今年度から市内2校の高校生も参加し、発表態度やその場で考えてすぐに再質問ができることなど、小中学生にもとてもよい刺激となり、より充実した議会となりました。



平成27年度 須崎子ども議会の感想より

(小学6年生) ぼくは先日の子ども議会で思ったことが、主に2つあります。

1つ目は、それぞれの学校の質問などに対して、分かりやすく理由などを話して下さったので、なるほどそうなんだと考えることが出来ました。

2つ目は、子ども議会は須崎市がぼく達の意見などを聞いて、目を向けてくれているんだなと嬉しくなりました。ぼく達は議員一人一人と同じ目線で意見を言えることはめったに無いので、しっかりと覚えて良かったし、子どものことを考えてくれる須崎に生まれ育って良かったと思います。

(小学6年生) 私は、初めて議会に出て、とてもきん張もしたけど、他の学校の質問を聞いていて、意外と楽しかったこともありました。すごくきっちりと大きな声で言っていた学校や、質問の答えに対して再質問をしている学校があって、とってもすごいと思いました。

本当の議長がすわっている席にすわれたことも嬉しかったし、言うときにつまってしまうけどいろんな人にほめてもらって、すごく嬉しかったです。自分の質問に対して、すごくていねいにお答えしてくれて、嬉しかったです。

特に印象に残った学校があります。それは須崎中と須崎高校です。理由は、須崎中学校は、2人そろって礼をしていたり、質問がなかったら『ありません』と、きちんと言えていたからです。須崎高校は、言葉がすごくていねいで、すごくニコニコしていたからです。私がまた子ども議会に出る機会があれば、須崎中・須崎高校を見習いたいです。とても良い経験になりました。

(中学3年生) 今回の子ども議会に参加して思ったことは、私たち地域の子どもの提案や要望にも、市長さんやその他のみなさんは、ていねいに対応して下さいだったので、須崎市という存在をとても身近に感じる事ができました。

私もしっかりと須崎市民であるという自覚をもち、須崎市の活性化のために私たちにできることは何かということを、もう一度考えてみようという良い機会でしたし、この子ども議会自体も、良い経験になったと思います。

★ 須崎のまちを日本一にするPR曲 完成記念式典 ★

◆須崎中学校が須崎のPR曲『すさがすきさ』を作成し（詳しくは、推進校の実践・須崎中学校をご覧ください）、そのPR曲の完成記念式典をしようと市内5中学校の生徒会が集まって実行委員会をつくり、各校で役割分担をし、記念式典実施に向けて様々な取組みを行ないました。

◆須崎市では、キャリア教育推進事業の一環として、『子どもの夢応援プロジェクト』を立ち上げ、このPR曲記念式典実行委員会の活動を支援しました。

◆PR曲の披露に加えて、パンフレットの中に「学校と地域を紹介する」ページを作り、式典でも各校が画像資料を作って「学校と地域をPRする」プレゼンテーションを行いました。式典当日は、市内全中学生が会場に集まり、須崎市の他地域のことも見聞きし、広く須崎市の魅力を知る学習にも繋がりました。

◆このような中学生が主体となった活動は、大きな反響を呼び、たくさんのメディアで取り上げていただきました。



市内5校の生徒会による実行委員会としんじょう君

★ 高校・大学との連携 ★

- ◆須崎市の小中学校では、地元の須崎高校と須崎工業高校と連携し、高校説明会、出張授業、体験入学だけでなく、合同避難訓練や放課後学習の指導、高校の成果を発表する会に中学生が参加するなど、たくさんの連携行事を行なっています。
- ◆高知大学とも連携し、成果を上げています。若手教員の研修には、教職をめざす大学生にもたくさん参加していただきました。若手教員からは『教師になって良かったと思った体験』を、学生からは『こんな先生との出会いで、先生になろうと思った』ことなどを出し合い、相互にモチベーションの高まる研修となりました。また、教育研究所からも教育学部の授業で講義をさせてもらい、キャリア教育の必要性も含め、教師の仕事について話をすることができました。

★高知大学と連携

◆ 高知大学 1 日体験

・中学生が高知大に行き、大学生との交流や授業体験、研究室訪問や施設見学などを行っている。



◆ 大学の先生による授業指導

・南小中と朝ヶ丘中に高知大の先生に来ていただき、校内研だけでなく、普段の授業でも授業を見て、アドバイスをいただいた。

◆ 須崎中の放課後学習に高知大生が入る

◆ 須崎小で交通安全教室を開催

◆ 若手教職員研修の講師に

◆ 市教委から、高知大の授業に協力

★ 学校支援推進員の活躍と、教職員地域体験活動 ★

- ◆須崎市では、各校の『学校支援推進員』が地域と学校を結ぶ大切な役割を担い、キャリア教育推進のために無くてはならない存在となっています。
- ◆須崎市では以前より、教職員が夏季休暇中の1日を使い、地域の事業所で働くという研修を続けてきましたが、今年度は市内の学校支援推進員が主体となって『教職員地域体験活動』を実施しました。
- ◆この研修のねらいとして、『子どもたちが将来、須崎に戻り、須崎を元気にする活動ができるように、教職員が地域の思いを知り、その思いを教育に生かしていく』ということがあり、単に地域の名所を巡るのではなく、地域を良くしようと尽力されている方の話から学ぶことに重点を置いています。
- ◆研修は、今年度須崎市に転任された先生方を中心に、『農業編』『漁業編』『町おこし編』の3つのグループに分かれて実施しました。

～参加者の感想・実施後アンケートの自由記述より～

- ・古い街なみや景観、建築物等がたくさんあり、PRを地道に行っていけば全国区になり得るかも、と感じました。
- ・須崎の町のことを詳しく教えて頂き、はじめて知る事がたくさんあった。(歴史的建物、食べ物など)須崎の町を活発にしたいという皆の思いが伝わってきた。
- ・須崎市にある古きよき建造物や商店、丸共味噌醤油醸造場など、ぜひとも未来に残していきたいものがあること。また、それらを地域から世界へ発信しようとしている



人たちがいることを知りました。

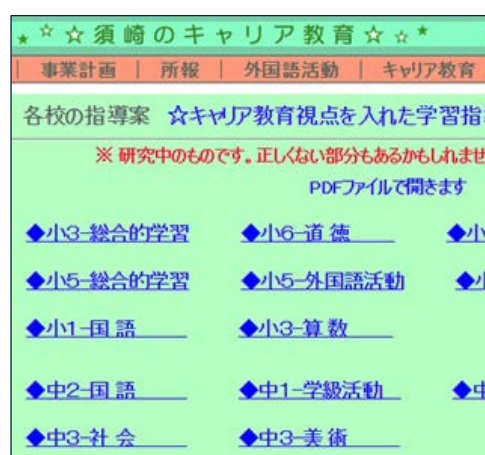
- ・名前は知っているけど前を通るだけ、と言う状態から、何をしているかなど、地域おこしに頑張っている皆さんの話が聞けた。また地元の丸共醤油の歩みや、鍋焼きラーメンプロジェクトの取り組みについても知る事ができた。
- ・昔ながらの町なみ、その中にある現代のギャラリーとの融合が新しいと思いました。また、おいしい食材やおかしがたくさんあるなんて全く知りませんでした。ぜひ今度行ってみようと思います。
- ・漁業の餌やりを見せていただいたり、大谷のくすの木、鳴無神社等々はじめての体験が多く、すばらしかったです。
- ・ミョウガ作りについて、初めて見る(体験する)ことが多く、農業に対する農家の方達の強い意気込みを感じた。
- ・日頃、触れることができそうでできない体験をたくさんできました。今日のこの体験を子ども達に返したいと思います。

★ ホームページ『須崎のキャリア教育』による情報発信★

◆須崎市のキャリア教育を広く知っていただくために、ホームページを作成し、公開しています。



ホームページは、「須崎市教育研究所」または、「須崎市 キャリア教育」で検索してください。学習指導案や各推進校の体験活動を紹介したページなどもあり、少しずつ更新しています。



体験活動の記録

◆須崎市では各校がたくさんの体験活動を実施していますが、他校の実践を知る機会があまりありませんでした。

◆そこで、右図のような書式を作り、各校の活動を簡潔に作成してもらい、ホームページで紹介するようにしています。

木曜会との交流(総合的な学習の時間)



浦ノ内小学校

第3学年

実施日

平成27年6月25日(木)

★ 講師・協力者・参加者 等 ★

木曜会の高齢者の方々
公民館の職員

★ 活動内容や、児童生徒・参加者のようす ★

お年寄りの前で、先日集会で発表した「きつつきの商売」を音読しました。音読の後、リコーダー奏の後、お年寄りの方から温かい拍手をいただけるような顔をしていた3年生でした。次に、リコーダー奏です。4月から初めて練習したばかりなので、なかなか指が思うように動かなくて苦労していた子どもたちですが、音楽の時間、帰りの会でと毎日のように少しずつ練習してきた成果が出ていました。そのあとは、「カルタ」「おじゃみ」「あやとり」「おはじき」などを使ってお年寄りと一緒に楽しく遊べました。